

No.	課室 所名	目標項目	難易度 (ABC)	目標の内容				目標に対する活動(上半期レビュー)		目標達成の状況【output・input】		成果分析【outcome】	
				目標指標の内容 (何を)	目標の基準値 (目標設定時の状態・ 比較実績)	目標達成時期 (いつまでに)	目標値 (どの水準までどうする・達成後 の状態)	目標達成のための具体的方法 (具体的な取組・行動の内容・スケ ジュールの概要など)	【現 状】 上期(4月～9月)の取組実績 (具体的活動・行動)	【ギャップと対策】 下期(10月～3月)に向けた課題と 取組の予定(具体的活動・行動)	①達成値・実績値 (目標の達成状況・ 現在の状態)	②取組・行動内容 (目標達成のために 行った取組・行動)	③目標達成による成果 (目標の達成による効果、 目標達成できなかった事由)
業務改善取組①	企画経営課	業務のたな卸しによる職員の役割分担について	B	課職員として各職員が担うべき役割	それぞれの病院における担当業務との連携	平成28年度末まで	両病院の担当業務毎の連携と役割分担を明確にする。	定期的(2ヶ月毎)に会議を開催し、現状について共通認識を図り、それぞれの立場から課題の解決に取り組む。必要に応じて管理規程の改正を行う。	上半期に企画経営課会議を2回開催し、両病院で取り組む事柄について検討を行った。	・両病院の全職員を対象にメンタルヘルス講習会を11/8に開催する予定(大森病院主催) ・両病院の管財担当職員による共同購入に向けた具体的な検討を進める。	11/8 条里南庁舎講堂においてメンタルヘルス合同研修会を開催した。 市立横手病院 参加者 164名 市立大森病院 参加者 48名 両病院で使用しているマスクと注射用シリンジの品目を統一し、変更前より納入単価を安く設定することができた。	外部講師との事務調整 両病院の研修担当者との連絡調整	例年、医療安全や院内感染対策に関する研修会は全職員を対象とした必須の研修会として、それぞれの病院でも開催されていたことから、今回、新たなテーマとして『メンタルヘルス』合同研修会を開催した。研修をとおり、職員のメンタルヘルスに関する意識の向上と研修の質の向上を図ることができた。
重点取組①	企画経営課	新たな公立病院改革プランの策定	A	県が策定する地域医療ビジョンとの整合性を図りながら、国が新たに策定するガイドラインに沿った新たな改革プランの策定	改革プランが平成25年度末に計画最終年度となり、新たな改革プランの策定が必要となっている	平成28年12月	新たな公立病院改革プラン(計画期間:H28～H32)を策定する。	4～7月:両病院における現状分析と課題整理 7月:経営指標の設定 9月:地域医療ビジョンとの擦り合わせ 11月:関係部所との調整 12月:プラン策定(完成)	4/13 計画策定に向けて今後の進め方について協議を行った。 7/19 両病院の現状確認と、新たなプランの方向性について協議を行った。	10/25 新プランの構成、経営指標、医療機能等指標についての協議を行う。 11月:関係部所との調整 12月:新プランの素案作成 1月:新プランの素案完成 2月:政策会議への報告	下半期に企画経営課会議を2回開催し、プランに盛り込む指標の設定とプランの構成を検討した。両病院において、現状分析と計画の素案を作成中であるが、作業の遅れから策定が年度末までずれ込む状況。	新たなプランの策定に向けて、旧改革プランの振り返りと新ガイドライン、秋田県地域医療構想との整合性を図りながら、素案作りを進めた。	これまでの取組の振り返りを通し、取り組むべき課題が整理され、目標が明確となった。両病院において、プランの実現に向けて、情報収集と共有を図りながら具体的な取り組みを進める。